



# 1月の園だより

平成31年1月4日

あけましておめでとうございます

静かだった園内にも、久しぶりに登園した子ども達の楽しげな声でいっぱいです。休み明けですので、生活リズムを整えて体調を十分に把握して過ごしていきましょう。  
新しい一年がお子さまにとって、また保護者の皆様にとって、笑顔がたくさんになりますようにお祈り申し上げます。

## 成長展について

○2月16日(土)  
9:30~11:00 全クラス成長展  
クラス懇談

※親子全員参加の行事となっております。必ずご参加下さい。  
詳細は後日お知らせ致します。

## 卒園写真・クラス写真について

1月29日(火)に卒園記念写真と各クラス集合写真撮影がある予定です。

保育料引き落としは1月15日(火)となっております。

12月は、口腔の怪我が一件あり、受診しました。

12月20日(木)に避難訓練を行いました。

ご意見・ご要望は12月は特にありませんでした。

## SAKURA'S COLUMN

♪子どもの意見表明権♪

子どもの権利条約には「子どもの意見表明権」が謳われています。人に言われるままに動くのではなく、しっかり自分の意思を持ち、それを表明していくことは、生きていく上で大切な力です。自分の意見を持つということは、自分の頭で考えて判断しなければいけません。自分の意見を言うだけではなく、人の意見も聞いて話し合いによって調整していく・・・まさに非認知能力です。赤ちゃんも泣くことで意見表明しています。泣き声にだれも応えてくれなければ、赤ちゃんは訴えることをやめ泣かなくなります。赤ちゃんが自分の意思を伝える唯一の手段である泣くことをやめたら、その後のコミュニケーションは育ちません。それだけではなく、他者との信頼関係も結ばず、非認知能力も育たなくなってしまうのです。「赤ちゃんを二泣き(二度泣き)させるな」と教わりました。赤ちゃんを泣かせっぱなしにして、同じ要求で2回泣かせてはいけないということです。子どもの訴えに耳を傾け、丁寧に応えることが、子どもの育ちを支えることであり、子どもの意見表明権を守ることになるのです。

## 【1月の予定】

月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 保育始め	5
7	8	9	10 体育教室(雪・月) 絵画教室(月)	11	12 消防パレード
14	15 英会話(月) わくわく広場	16 誕生会	17 わくわく広場	18	19
21	22 わくわく広場	23	24 体育教室(雪・月) わくわく広場	25	26 園外研修
28 絵画教室(すみれ)	29 英会話(月) わくわく広場	30	31 絵画教室(月) わくわく広場		

## 【今後の予定】

- 2/1(金) 節分・誕生会
- 2/16(土) 成長展・園内研修
- 2/27(水) お別れ会
- 3/1(金) ひなまつり会・誕生会
- 3/17(日) 卒園式(月・雪)
- 3/23(土) 新年度説明会

# 非認知能力

## 非認知能力って何？

非認知能力は、目標の達成に向かう心的態度や情動調整、他者と協働する力、粘り強く頑張る力、挫折から回復する力のことです。

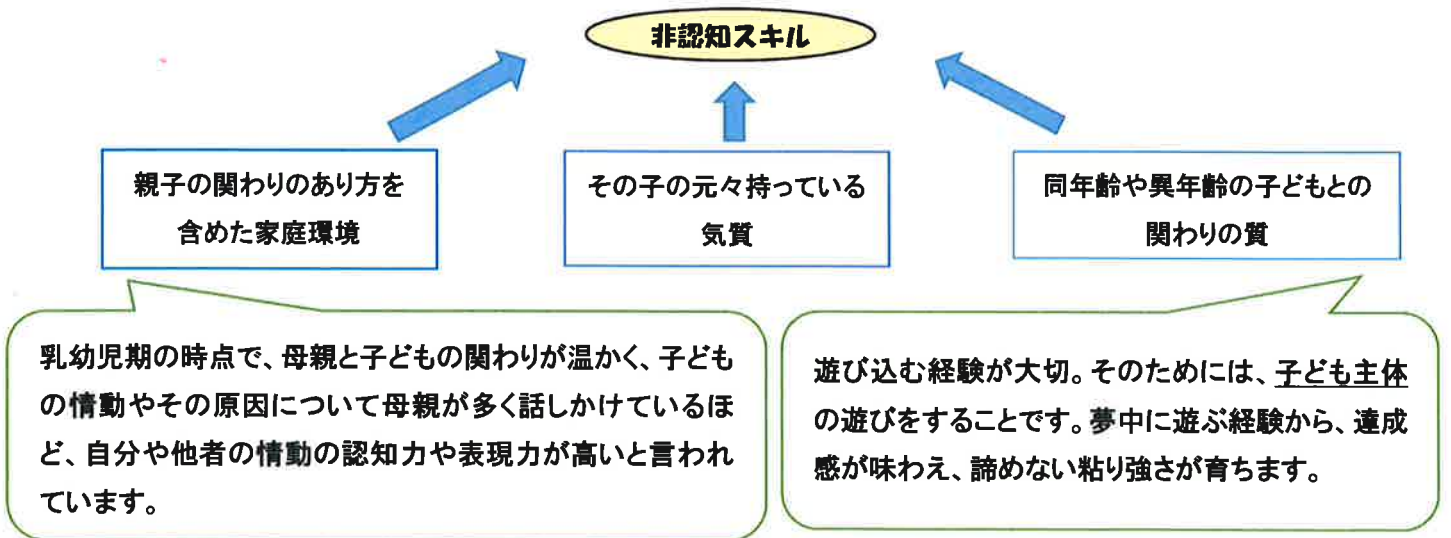


## どうやったら非認知能力が育つのか？

非認知(社会情動的)スキルの発達に影響を与える要因

『さあ、子どもたちの「未来」を話しませんか』

著: 汐見稔幸 参照



### みなとこども園での“学びの芽”

月組の太鼓演奏をあこがれを持って見ていた雷組のお友達。初めて持つバチにも力が入ります。子どもは「やってみたい」という興味・関心から「もっと上手になりたい」という意欲や、失敗してもあきらめない粘り強さ、お友達と一緒に取り組む協働性、そして完成した時の達成感や自己肯定感を育て、「もっとやってみよう」「嫌なこともやってみよう」と、どんどん可能性が広がります。

空クラスではピーステーブルを設置しています。トラブルの時、大人が仲介するのは簡単ですが、それでは両者納得のいかないまま流されてしまい「ごめんね」で片づけてしまうことも…。保育者が傍で見守る中、自分たちの思いを言い合い、相手の思いも聞く。次第に落ち着いて解決し、また仲良く遊び始めます。

「何だろう」「どうしてだろう」という「不思議の世界」や「自分もやってみたい」という「あこがれの気持ち」、「もっとやりたい」という「楽しい気持ち」、これらは乳幼児期の遊びの中で育つ非認知能力であり、その後の教科学習の基盤となる「学びの芽」です。大人の一方的な「教え・導く」では、非認知能力は育たないのです。

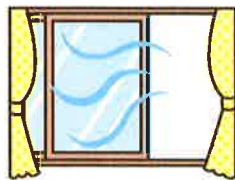
あけましておめでとうございます。冬休みは楽しく過ごせましたか？ つい不規則な生活をした  
り、食べ過ぎたりしませんでしたか？ 今年も子どもたちが健康に過ごせるように、ほけんだより  
を通して病気の予防法などをお伝えしていきます。本年も宜しくお願いいたします。

## 寒い時期のけがや病気に注意！

こんなことに気を付けましょう



ポケットに手を入れたまま  
歩かないようにしましょう



1時間に1度、  
換気をしましょう



感染症にならないよう、人の  
多い場所は避けましょう



手洗い・うがいを  
こまめにしましょう



咳エチケットを  
守りましょう



乾燥しないよう加湿  
器をつけましょう



早寝早起きを  
しましょう

## トイレトレーニング

月齢・年齢別おしっことうんちの回数

月齢・年齢	おしっこ	うんち
概ね 0ヵ月	1日10~20回 1回量はごくわずか。	10回近くすることも 徐々に回数は減ってきます。
概ね 1~4ヵ月	強く泣いたり体を動かしたりしただけでも、 腹圧がかかって反射的におしっこが出ます。	個人差は大きいものの、ミルクの乳児は 回数が少なめになる傾向があります。
概ね 5~6ヵ月	1日10~15回 6ヵ月頃からお昼寝の時や夜間のおしっこが減ってきます。	1日2~4回 離乳食開始直後は、一時的にゆるくなったり、逆に便秘気味になることもあります。
概ね 7~8ヵ月	おしっこが出ると、泣いてサインを送るようになります。	食べ物により、色や固さが変わったり、 食べた物がそのまま出ることも。
概ね 9~11ヵ月	9ヵ月頃からは、昼間の回数が減り、量がぐっと増えてきます。	離乳食が進むにつれ、うんちは固くなり、 色も黄色から茶褐色に。
概ね 1~2歳	1日10回 一晩中おしっこをしないうちが増えてきます。	1日1~3回 うんちをする時間帯がほぼ決まってくる。色、固さ、においも大人に近づきます。
概ね 2~3歳	1日7~9回 出た後で、おむつやパンツを気にするそぶりが出てくる事も。	1日1~2回 うんちをする時、物陰に隠れたり、じっとしているなどの様子が見られるようになります。
概ね 4~5歳	1日5~6回 トイレまで我慢できるようになります。	1日1~2回 トイレまで我慢できるようになります。

**始める時期**

- 一人歩きがしっかりできる
- 話がある程度理解できて簡単な受け答えができる
- おしっこの間隔があいてきている

**おむつ卒業までの3ステップ**

1、トイレに慣れる  
おしっこが出そうな頃合いを見計らって、トイレに座せたり、抱きかかえて促してみよう。特に、朝起きた時やお昼寝の後でおむつが濡れていない時がチャンスです。

2、誘われてトイレに行く  
トイレに慣れてきたら、子ども自身がおしっこをしたいタイミングに気付けるように声をかけてみましょう。「おしっこしようか」とトイレに促すことで、尿意や便意をしっかり自覚させます。

3、自分から教える  
言葉で表現できなくてもパンツを脱がせてとせがんだり、手を引いてトイレに行こうとする様子が見られるようになります。態度で示すことができた時は、教えてくれたことを褒め、排泄はトイレであることを認識させましょう。

\*先を見通して時間のコントロールをできるようになるのが最終目標です。

